

【事務情報科】 1 年次 【必修】科目「簿記」授業のシラバス

1 概要

教科名	商業	科目名	簿記	単位数(コマ数)	4 (156)
科目の目標	簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みをについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。				
教科書(出版社)	新簿記 新訂版(実教出版)	副教材(出版社)	学習と検定 反復式簿記問題集全商 3 級改訂版(実教出版) 学習と検定 反復式簿記問題集全商 2 級改訂版(実教出版) 全経簿記検定試験 PAST 3 級商業簿記		

2 学習の方法

(1) 予習について

簿記は高校で初めて学ぶ科目です。基本的には予習は必要ありません。

(2) 授業について

クラス全員が高校で初めて学ぶ科目です。毎時間、授業に集中してください。疑問点は遠慮なく質問してください。

電卓、教科書、問題集は忘れないでください。もし忘れた場合は、授業が始まる前に教科担当の先生に申し出てください。

ただ、忘れ物が続くと平常点として「関心・意欲・態度」の評価に関わります。授業が始まる前に点検しておいてください。

この授業で使うファイルは「プラスチックの赤（ピンク）」です。授業の理解度を知るために、確認テストを実施します。

定期的にノート、問題集の提出を求めます。

(3) 復習について

簿記は復習が大切です。予習は必要ありませんが、授業の復習を怠ると全く面白くない授業になります。

復習の仕方は ①授業ノートの見直し ②授業で解いた問題の解き直し ③教科書の例題の見直し

次の授業を受ける前に必ず行ってください。

〈学習アドバイス〉

とにかく復習あるのみ。復習を万全にして得意科目にしてください。また、文字、数字を丁寧に書くように心がけてください。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	企業における取引を、帳簿に記録・計算・整理する技術である簿記に関心を持ち、簿記一巡の手続きの学習に自分から進んで取り組むとともに、学んだことをまとめたり確認しようとする。
② 思考・判断・表現	企業における取引を、簿記特有のルールから思考し、基礎的・基本的な知識を活用して適切に判断しようとする。
③ 技能	簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、企業における取引を、合理的、能率的記録・計算・整理する。
④ 知識・理解	簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、簿記一巡の手続きを理解している。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料		定期考査・確認テスト		確認テスト	提出物	課題	外-力-リ
観 点	割合						
① 関心・意欲・態度	10%	△	学年末に簿記一巡の手続きを理解しているかどうかを確認するために記帳練習問題を課題として与え、期日厳守で提出してもらいます。			◎	○
② 思考・判断・表現	30%	◎	企業における取引の実際を、簿記のルールによって考察し、的確に表現できるか。	○	○		
③ 技能	30%	◎	簿記検定試験 3 級、2 級レベル	○	○		
④ 知識・理解	30%	◎	簿記検定試験 3 級、2 級レベル	○	○		

〈担当者からのメッセージ〉

- 定期考査、確認テストの結果次第では、課題や補習を行います。

【必修】科目「簿記」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期						
4	第1章 簿記の基礎		簿記の意味と目的、種類、歴史、前提条件	① ④ ④	簿記の意味・目的を明らかにして、記帳の重要性を理解させる。 簿記の種類、前提条件など簿記のアウトラインを理解できる。	
		12				
5	第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表		簿記の要素 資産・負債・純資産 貸借対照表 資産・負債・資本の増減と貸借対照表	① ④ ① ④ ① ④ ④	資産・負債・純資産（資本）の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解できる。 貸借対照表の意味・形式などを明らかにできる。 純損益を計算する方法（財産法）を理解できる。 各種の等式を理解できる。	確認テスト 前期中間考查
	第3章 収益・費用と損益計算書	16	純損益の発生原因 収益と費用の発生 損益計算書の作成	④ ④ ④ ④	収益・費用の意味を明らかにし、純損益を計算する方法（損益法）を理解できる。 損益計算書の意味・形式などを明らかにできる。	
	第4章 取引と勘定		簿記上の取引と勘定口座 勘定記入の方法	④ ④ ② ④ ④	取引により、資産・負債・資本が増減することを理解できる。 勘定・勘定科目・勘定口座などの意味を理解できる。 勘定口座の形式を明らかにできる。 貸借平均の原理を理解できる。	
6	第5章 仕訳と転記	12	仕訳・転記	③ ④ ③ ④	仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳ができる。 仕訳を勘定口座に転記する方法を理解できる。	
	第6章 仕訳帳と総勘定元帳		取引の記帳と仕訳帳の記入	④ ③	仕訳帳の形式・記入法を理解できる。 総勘定元帳の意味を明らかにし、仕訳帳からの転記できる。	確認テスト
7	第7章 試算表		試算表の意味と種類と作成	① ④ ③ ④	試算表の役割・種類・それぞれの特徴などを明らかにできる。 精算表の役割を明らかにできる。	
	第8章 精算表		精算表	③ ④	精算表から複式簿記のしくみを理解できる。	
	第9章 決算	16	決算	④ ④ ④	決算の意味・必要性・重要性について理解できる。 決算手続き全体の流れを理解できる。	確認テスト
8	第10章 現金・預金の取引		簿記上の現金と現金出納帳 当座預金と小口現金	④ ③ ③ ④ ④	現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法について理解できる。 現金過不足の処理法を理解できる。 当座預金・当座借越勘定の記帳方法と当座預金出納帳の記帳方法について理解できる。 小口現金のシステムを理解できる。	確認テスト 前期期末考查
	第11章 商品売買の取引		3分法 仕入帳・売上帳 商品有高帳	③ ④ ③ ④ ④	分記法の復習から3分法による商品売買の記帳方法を理解できる。 仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と記帳方法を明らかにできる。 先入先出法と移動平均法を理解できる。	
9	第12章 掛け取引	12	売掛金・買掛金・貸し倒れ	① ④ ④ ④	掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法を理解できる。 売掛金元帳と買掛金元帳の役割を明らかにできる 貸し倒れの意味を明らかにし、その記帳方法を理解できる。	確認テスト
後期						
10	第13章 手形の取引		約束手形と為替手形	① ④	約束手形・為替手形のしくみと記帳方法を理解できる。 手形記入帳の役割と記帳方法を理解できる	
	第14章 有価証券		有価証券の意味	③ ④	有価証券の意味と計算のしかた、買い入れたとき、売却したときの記帳方法を理解できる。	
	第15章 その他の債権債務	20	有価証券の取得と売却 貸付金と借入金から商品券	③ ④ ④	売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や勘入などを理解できる。 固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法を理解できる。	
	第16章 固定資産の取引		固定資産の取得から売却	④ ④	固定資産台帳の役割を明らかにできる。	
11	第17章 個人企業の資本取引		資本の追加・元入れ・引出し	③ ④ ②	個人企業における資本の元入れ、引き出しなどの記帳方法を理解できる。 引出金勘定を用いた場合の記帳方法を理解できる。	
	第18章 税金の取引	20	個人企業の税金と消費税	② ③ ② ③	販売費及び一般管理費の意味と記帳方法を理解できる。 個人企業に課せられる税金と消費税の記帳方法を理解できる。	全経簿記検定
	第19章 決算整理		決算整理と棚卸表	② ③ ④	決算整理の意味とその必要性を理解できる。 3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積り、減価償却の処理法を理解できる	
12	第20章 8桁精算表		8桁精算表の作成	④ ③	8桁精算表を作成できる。 決算整理を含む決算手続き全体の流れを、帳簿記入を通じて学習し、損益計算書と貸借対照表が作ることができる。	
	第21章 帳簿決算	12	財務諸表の作成	① ③ ④	いままで学んだ帳簿の種類をあげ、分類できる。 分課制度と帳簿組織との関連について理解ができる。	後期中間考查
	第22章 省略			④	証ひょう・伝票の意味とその役割を明らかにできる。	
	第23章 伝票		3伝票制	② ③ ③ ④	3伝票を用いた場合の起票やルールを理解できる。 費用・収益の繰り延べ・見越しの意味とそれぞれの記帳方法を理解させ、習熟をはかる。	
1	第24章 決算整理(2)		費用・収益の繰延べと見越し 有価証券の評価と減価償却	② ④ ① ④	減価償却の間接法、有価証券の評価替えなどの記帳方法を理解・習熟させる。	
	第25章 財務諸表の作成	8	2区分の損益計算書と貸借対照表		費用・収益の繰り延べ・見越し、間接法、有価証券の評価などを含めた財務諸表の作成できる。	
	第26章 特殊な商品売買の取引		割賦販売から予約販売	① ④ ① ④	割賦販売・委託販売・未着商品売買・試用販売・予約販売の意味を明らかにし、それぞれの記帳方法を理解できる。	
2	第27章 特殊な手形の取引	12	自己受為替手形から手形の保証債務	① ④ ① ④ ① ④ ① ④	自己受為替手形の手形関係を明らかにし、その記帳方法を理解できる。 手形の書き換えの意味を明らかにし、その記帳方法を理解できる。 手形が不渡りになった場合の処理手続きと記帳方法を理解できる。	後期期末考查
3		8 計 156		① ④ ① ④	荷付為替手形の意味を明らかにし、その記帳方法を理解できる。 手形の保証債務の意味を明らかにし、その記帳方法を理解できる。	

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。